

# 「若年層の投票率向上推進計画」の策定について

令和3(2021)年9月16日 栃木県選挙管理委員会

## 1 目的

近年、選挙の投票率は低迷しており、とりわけ20歳代を中心とした若者の投票率は、著しく低い水準にある。

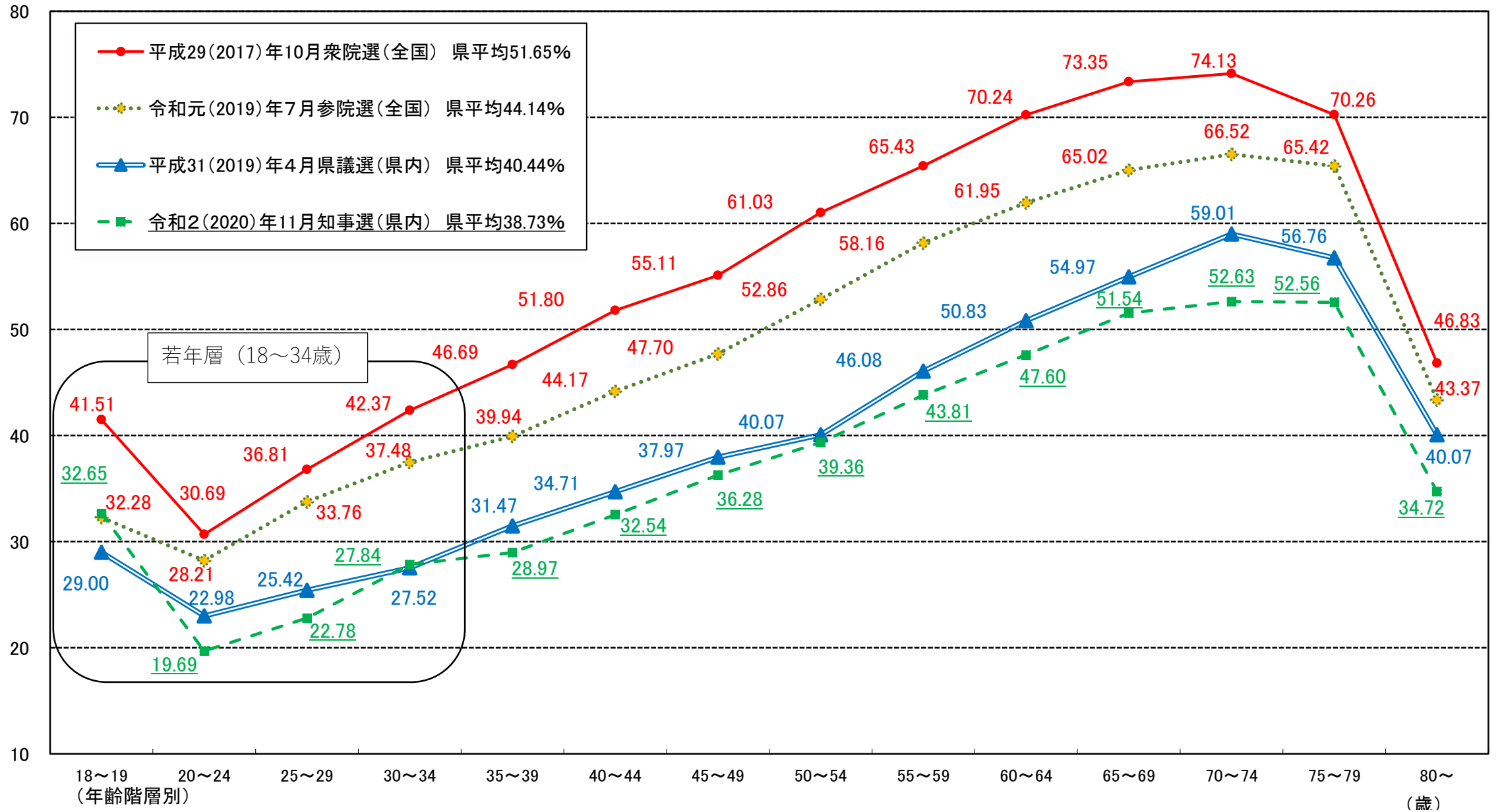
若年層の投票率向上に向け、選挙啓発事業を効果的に実施するため、当事者である若者が自ら考え、それを有識者等が支援するワーキンググループの議論を踏まえながら、令和5(2023)年度からの投票率向上推進計画を策定する。

## 2 計画策定スケジュール(予定)

	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
予定される選挙	衆院選	参院選	県議選	知事選	衆・参院選	
ハロート事業実施・効果検証	→					
既存事業実施・効果検証 (出前講座・ユースサロン等)	→					
投票率向上推進計画の策定 ・啓発事業の実施	→ 計画策定		→ 計画に基づく啓発事業の実施			

# 年齢階層別投票率

(%)



# 若年層の投票率向上推進計画策定スケジュール（予定）

令和3（2021）年9月16日 現在

年度	選挙	啓発事業 (パイロット事業)	ワーキンググループ (WG)	
令和3 (2021) 年度	4			
	5			
	6			
	7			
	8	8月26日 <b>第1回パイロット事業</b> 主権者教育オンライン講演会  講師：政治解説者 篠原文也氏 当日視聴者：87名	自由参加（DVD配布）	
	9	衆議院選挙（10月21日任期満了）	9月16日 <b>第1回 WG</b> ○説明 ・計画策定について （事業の目的・スケジュール） ・本県の選挙啓発について （選挙意識調査、本県の選挙啓発事業） ○意見交換 ・なぜ、若者の投票率は低いか ・どうしたら投票率が向上するか	
	10			
	11		12月中旬	
	12		<b>第2回パイロット事業</b> 若年層向けオンラインセミナー	自由参加
	1			2月上旬
	2		<b>第2回 WG</b> ○説明 ・R4年度計画策定スケジュール ・R4年度啓発事業 等 ○意見交換 ・第1回を踏まえて論点整理した、投票率向上に向けた課題について① 等	
	3			

年度	選挙	啓発事業 (パイロット事業)	ワーキンググループ (WG)
令和4 (2022) 年度	4		
	5	5月中旬	<b>第3回 WG</b> ○説明 ・R4年度計画策定スケジュール ・第3回パイロット事業 ○意見交換 ・第1回を踏まえて論点整理した、投票率向上に向けた課題について② ・計画(骨子案)について 等
	6	参議院選挙（7月任期満了）	
	7		
	8		<b>第3回パイロット事業(仮)</b>
	9	9月中旬	<b>第4回 WG</b> ○意見交換 ・計画(素案)について
	10		
	11		
	12		
	1	1月中旬	<b>第5回 WG</b> ○意見交換 ・計画(最終案)について
	2		
	3	<b>若年層の投票率向上推進計画 公表</b>	

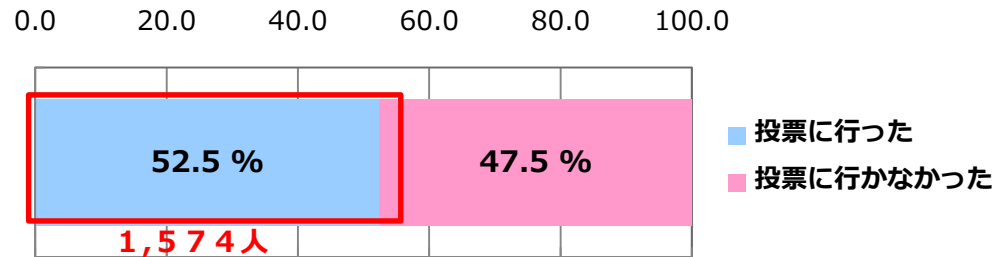
# 18歳選挙権に関する意識調査の概要（抜粋） [H28.12] ①

調査

○調査主体 総務省      ○調査対象 全国の満18歳～20歳の男女個人3,000人      ○調査方法 インターネット調査法      ○調査期間 平成28年10月20日～10月31日

## 投票に行った人の状況

- 投票に行った人は1,574人（全体の52.5%）



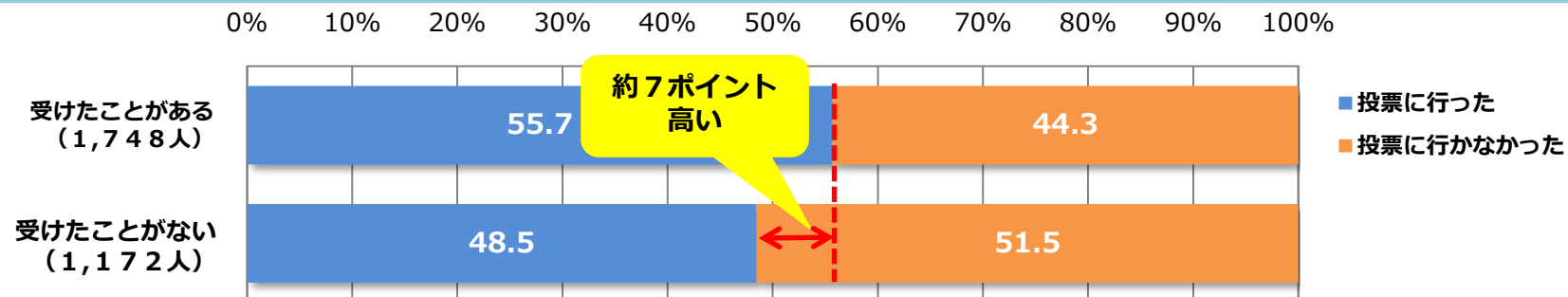
■投票に行った人で、今後も投票に行こうと思う（※）と回答した人は**93.7%**。

①毎回行こうと思う	47.8%
②できるだけ行こうと思う	40.9%
③関心が持てる選挙だけ行こうと思う	5.0%
④積極的に行こうとは思わない	3.3%

※「行こうと思う」には、「今後は毎回行こうと思う」、「できるだけ行こうと思う」、「関心が持てる選挙だけ行こうと思う」を含む。

## 高校で選挙・政治に関する授業を受けた人の投票

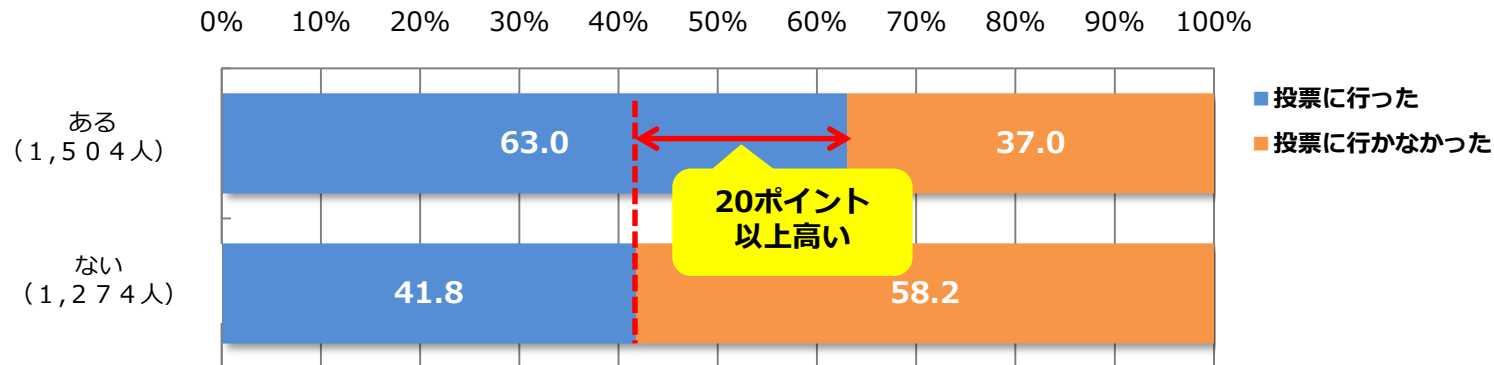
- 何らかの授業を「受けたことがある」人の方が、投票した割合が約7ポイント高い
- 副教材を使用した授業を受けた人は17.2%



令和2年度明るい選挙  
リーダーフォーラム  
関東甲信越静岡ブロック  
総務省自治行政局  
選挙部管理課 資料(抜粋)

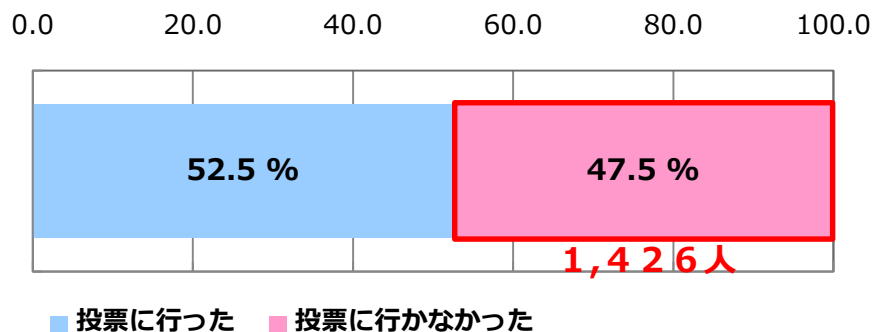
## 子どもの頃に親が行く投票について行った人の投票

- 子どもの頃に親が行く投票について行ったことが「ある」人の方が、投票した割合が20ポイント以上高い



## 投票に行かなかった人の状況

- 投票に行かなかった人は1,426人（全体の47.5%）



■投票に行かなかった理由として、「今住んでいる市区町村で投票することができなかったから」が最も多く、年齢別では18歳よりも19歳の割合が高い。

<上位3項目> ※複数回答

①今住んでいる市区町村で投票することができなかったから	21.7%
②選挙にあまり関心がなかったから	19.4%
③投票に行くのが面倒だったから	16.1%

<①の主な回答割合>

【年齢別】  
18歳（15.6%）より19歳（27.5%）が10ポイント以上高い。  
【地域別】  
「関東」（19.6%）や「中部」（19.4%）より、「中国・四国」（25.9%）や「九州・沖縄」（26.8%）が5ポイント以上高い。

# 第19回統一地方選挙全国意識調査（抜粋）[R1.12]

調査

○調査主体 (公財) 明推協      ○調査対象 全国の満18歳以上の男女3,150人      ○調査方法 郵送配布・郵送回収法      ○調査期間 令和元年7月3日～8月9日

【アンケート項目】 都道府県議選における投票の棄権理由について

(%)

選択肢	18回(H27)	19回(H31)
仕事があったから	25	23.8
重要な用事（仕事を除く）があったから	8.7	11.9
体調がすぐれなかったから	12.4	12.9
投票所が遠かったから	3.1	2.2
選挙にあまり関心がなかったから	33.9	37.9
政党の政策や候補者の人物像など、違いがよくわからなかったから	26.5	25.8
支持する政党の候補者がいなかったから	8.1	9.4
適当な候補者がいなかったから	19.2	16.6
私一人が投票しなくても同じだから	9.6	11.7
今の政治を変えなくてもいいと思ったから	0.6	1.2
選挙結果が予想できる無風選挙であったから	7.2	4.7
選挙によって政治はよくならないと思った	13.8	17.9
今住んでいる所に選挙権がないから	1.8	3.5

令和2年度明るい選挙  
リーダーフォーラム  
関東甲信越静ブロック  
総務省自治行政局  
選挙部管理課 資料(抜粋)

# 第25回参議院議員通常選挙全国意識調査（抜粋）[R2.3]

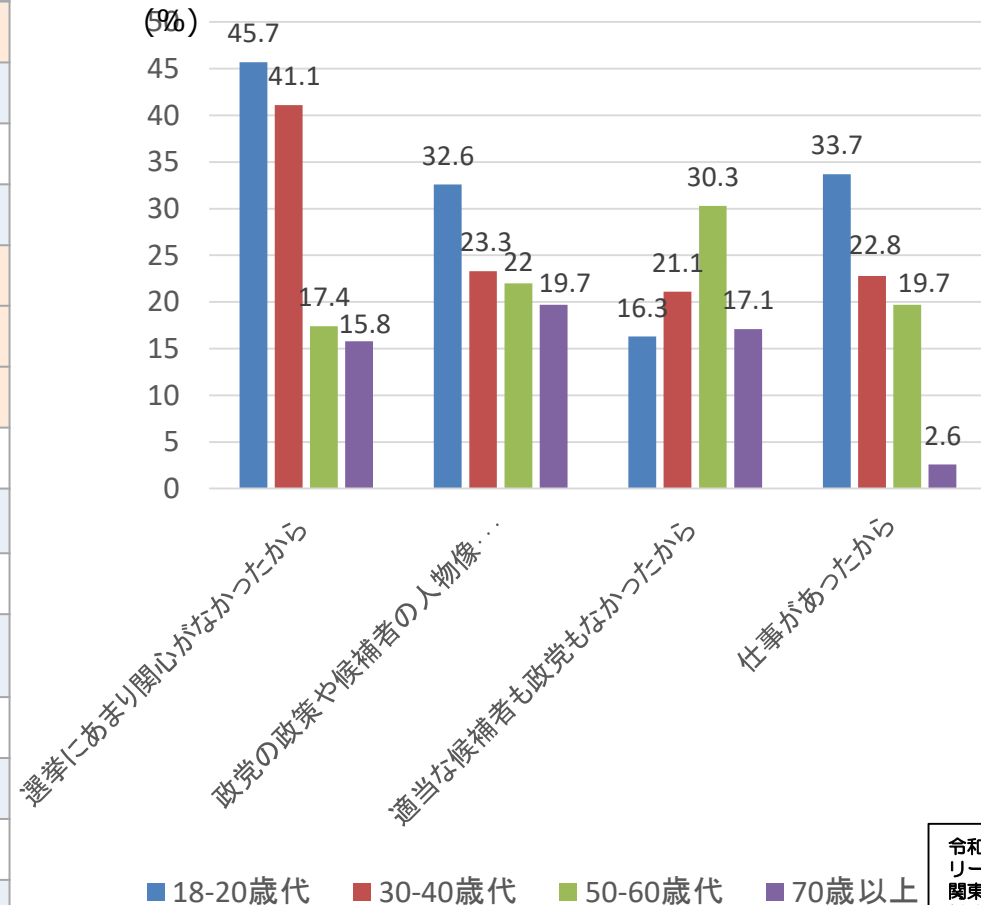
調査

○調査主体 (公財) 明推協      ○調査対象 全国の満18歳以上の男女3,150人      ○調査方法 郵送配布・郵送回収法      ○調査期間 令和元年10月30日～12月24日

【アンケート項目】投票の棄権理由について (%)

選択肢	全年代 (%)
仕事があったから	20.4
重要な用事（仕事を除く）があったから	14.5
体調がすぐれなかったから	17
投票所が遠かったから	3.9
選挙にあまり関心がなかったから	30.9
政党の政策や候補者の人物像など、違いがよくわからなかったから	23.7
適当な候補者も政党もなかったから	21.7
私一人が投票してもしなくても同じだから	13.9
自分のように政治のことがわからない者は投票しない方がいいと思ったから	7.6
選挙によって政治はよくなると思ったから	17.8
マスコミ（メディア）の当落事前予測調査を見て、投票に行く気がなくなったから	3.3
今の政治を変える必要がないと思ったから	1
今住んでいる所に選挙権がないから	2
天候が悪かったから（暑すぎた、雨だったなど）	1.4
その他	9
わからない	1.2

上位4つの棄権理由への各年代の選択率



令和2年度明るい選挙  
リーダーフォーラム  
関東甲信越静岡ブロック  
総務省自治行政局  
選挙部管理課 資料(抜粋)

# 令和3（2021）年度 栃木県明るい選挙推進運動 事業計画

目的	事業項目	内容	時期等
i 学校教育における主権者教育の推進	1 ポスターコンクール	小学生、中学生、高校生からの作品募集	5～10月
	2 選挙啓発出前講座の実施	学校での選挙啓発出前講座の実施・支援	随時
	3 高校3年生向けメッセージカード	高校3年生を対象に、投票を呼び掛けるメッセージカードの配布	11月
	4 学校教育と連携した選挙啓発	県教育委員会と連携し学校教育段階における選挙啓発を実施	随時
ii 若年層への啓発	5 とちぎ選挙ユースサロンの開催	20～30代を対象とした参加体験型啓発事業の実施	通年
	6 若年層向けオンラインセミナーの開催【新規】	選挙や政治への関心向上と参加を促すためのオンラインセミナーの実施	12月
	7 主権者教育オンライン講演会の開催【新規】	学校と家庭における主権者教育の推進を図るため、教員やPTA等を対象としたオンライン講演会を開催	8月
	8 大学祭等における啓発	大学祭等における啓発用資材配布・投票呼び掛け	随時
	9 若者啓発団体の活動支援	「栃っ子！選挙推進プロジェクト」の活動を支援（資材貸与等）	随時
	10 「大学コンソーシアムとちぎ」と連携した選挙啓発【新規】	「大学コンソーシアムとちぎ」と連携し大学における選挙啓発を実施	随時
iii 幅広い年齢層を対象とした主権者教育の推進	11 インターネットを活用した情報発信	栃木県ホームページ、ツイッターによる情報発信	通年
	12 新聞記事を活用した啓発	下野新聞で年間6回の啓発記事掲載	通年
	13 ラジオ放送スポットCM	FM栃木で20秒CMを放送	12～1月
	14 研修会への講師等派遣	市町等が開催する研修会への講師等の派遣	随時
	15 啓発資材貸出	「めいすいくん」着ぐるみ、DVD等の貸出	随時
	16 県民の日イベントでの啓発活動	県民の日イベントにおける啓発用資材配布、投票呼び掛け	6月
iv 推進体制の強化	17 選管委員・明推会長等研修会	市町選管委員・明推会長・推進員等を対象とした研修会の開催	2月
	18 明るい選挙推進研究大会	芳賀郡市町選挙管理委員会連合会と共催で大会を開催	未定
	19 明るい選挙推進指導員連絡会	希望する市町において指導員を対象とした連絡会を開催	1～3月
	20 市町啓発事務担当者会議	情報・意見交換を通じて啓発活動を研究	5月
	21 明るい選挙推進協議会の開催	常時啓発事業計画等に対する意見の聴取	3月
	22 研修会等への派遣	地域コミュニティフォーラム（神奈川県） 若者リーダーフォーラム（栃木県） 明るい選挙リーダーフォーラム（神奈川県）	随時
	23 「若年層の投票率向上推進計画」の策定【新規】	若年層の投票率向上に向け、選挙啓発事業を効果的に実施するための投票率向上推進計画を策定	通年



令和元年7月参院選・令和2年11月知事選における臨時啓発事業

県選管実施	R元参院選	R2知事選
ラジオスポット広告(20秒CM:AM、FM)	○	○
テレビスポット広告(15秒CM:とちテレ)	○	○
データ放送(とちテレ)	○	○
大型液晶ビジョン広告(15秒CM) 〈バンパビジョン等〉	○	○
動画配信(15秒CM) 〈YouTube、足銀・栃銀ディスプレイ〉	○	○ 【新規】YouTube の配信を若年層 へのターゲティ ング広告として実施
スマートフォンの位置情報を活用した広告(期日周知 バナー広告)(配信対象:県内の18歳~34歳)		【新規】○
選管Twitterによるユースサロンメンバーからの投票呼び掛 けメッセージの配信	○	○
Twitter広告(有料広告)	○	○
コンビニレジ画面 〈ローソン、ファミリーマート〉	○	○
バスフロントグリル 〈関東バス〉	○	○
タクシー車体 〈栃木県タクシー協会〉		【新規】○
懸垂幕・横断幕 〈各県庁舎、県施設等〉	○	○
県庁電話保留音を使った期日周知アナウンス	○	○
公用車へのマグネットステッカー	○	○
県広報車巡回	○	○
期日周知ポスター、テーブルポップの掲示	○	○
ファミレスでのテーブルステッカーの掲示	○	○
大学学生食堂へのテーブルステッカーの掲示	【新規】○	○
釣銭トレイ用啓発シールの掲示		【新規】○
アミューズメント施設への啓発ポスター等の掲示 〈ホウリング場〉	○	○
映画館スポット広告(15秒CM) 〈県内シネマコンプレックス〉		○
イベント会場等での啓発	・グリーンスタジアム ・FKDイベント開催	グリーンスタジアム
大学情報サイト等を活用した啓発		【新規】○

市町要請	R元参院選	R2知事選
広報車巡回	○	○
防災無線による呼び掛け	○	○
懸垂幕・横断幕の掲示	○	○
期日周知ポスター	○	○
啓発資材の配布	○	○
選挙啓発ポップの設置	○	○
公用車へのマグネットステッカー	○	○
ケーブルテレビでの動画配信	○	○
広報紙等による啓発	○	○

令和2年11月知事選

期日周知ポスター



釣銭トレイシール

テーブルポップ



テーブルステッカー



11月15日(日)は栃木県知事選挙の投票日です!

令和2年11月知事選でのデジタルコンテンツを活用した啓発事業の主な実績

1 若年層対象	YouTubeターゲティング広告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配信内容…15秒啓発CM (栃木ゴールデンブレーブス 川崎選手・西岡選手起用。以下同じ)</li> <li>・配信期間…10.29～11.15(18日間)</li> <li>・配信対象…県内の18～24歳</li> <li>・配信回数…320,535回</li> <li>・選管HP移行数…288回</li> </ul>
	スマートフォンの位置情報を使った期日周知バナー広告の配信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配信内容…期日周知バナー広告</li> <li>・配信期間…10.29～11.15(18日間)</li> <li>・配信対象…県内の18～34歳</li> <li>・配信回数…3,192,665回</li> <li>・選管HP移行数…3,725回</li> </ul>
	Instagramターゲティング広告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配信内容…期日周知バナー広告</li> <li>・配信期間…10.29～11.15(18日間)</li> <li>・配信対象…県内の18～34歳</li> <li>・配信回数…202,493回</li> <li>・選管HP移行数…2,025回</li> </ul>
2 全年齢対象	ツイッター広告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配信内容…投票日・期日前投票の周知、15秒啓発CM</li> <li>・配信期間…10.29～11.15(18日間)</li> <li>・配信対象…県内の全有権者</li> <li>・配信回数…643,563回</li> <li>・選管HP移行数…1,590回</li> <li>・フォロワー獲得数…19人(選管ツイッターフォロワー数746人→765人)</li> </ul>
	映画館での啓発CMの放映	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放映内容…映画上映前に15秒啓発CM</li> <li>・放映期間…11.6～11.15(10日間)</li> <li>・放映映画館…TOHOシネマ宇都宮、MOVIX宇都宮ほか、小山、佐野、足利、那須塩原所在の各シネコンの全7か所(3回以上/日/スクリーン)</li> </ul>
3 大学等での取組	大学ポータルサイト等での啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学コンソーシアムとちぎ: ホームページへのバナー広告の掲載</li> <li>・白鷗大学: 大学ツイッターへのバナー広告の掲載 学内テレビやオンライン授業での15秒啓発CMの配信</li> <li>・従来からの取組として、各大学が啓発ポスター等の掲示に協力</li> </ul>

バナー広告 2種類



# 他自治体選挙啓発取組事例

## 1 若者(学生)向け

- (1) 学生、若者と議員の座談会
- (2) 学生による選挙出前講座
- (3) 入学式での投票・住民票異動の呼掛け
- (4) 選挙管理委員会インターンシップ

## 3 子育て世代・将来の有権者向け

- (1) 夏休み親子イベント「議事堂見学・投票体験」
- (2) 投票所で応募用紙を投函する子ども向け選挙クイズ(景品有り)

## 2 若者(社会人)向け

- (1) 新入社員向け選挙出前講座
- (2) 企業等が開催する若手社員を対象としたセミナーでの講演

## 4 全年齢向け

- (1) 地域のお祭り等に選挙啓発ブースを設置
- (2) ショッピングセンター、図書館、動物園等で模擬投票
- (3) 選挙まんがコンクール
- (4) 投票済証を活用した協賛店での割引(有志団体が主催)